

海部南部消防組合 後藤公暢さん(25)

人命救い、感謝される隊員に



「人を助け、人から感謝される消防隊員になりました」と語る後藤さん。飛鳥村の海部南部消防組合で

新人対談

4

「消防士になられた理由を教えてください」

大学を卒業して民間企業で働いていた時期に東日本大震災などで被災した人のインタビュー動画を見たことがきっかけです。娘さんを亡くされた方が自分自身を責めているのを見て、そういう人たちが一人でも救いたいという思いから消防士を目指しました。出身が弥富市平島町なので、地元に貢献したいです。

「前職を辞めての挑戦に恐怖はありませんでしたか」

「普通の仕事内容を教えてください」

「取材を終えて」

取材を終えて

都築大輔(24) 安城市出身



被災者のインタビューを見て、人を助けたいと消防士になりたいと決めた。

隊員になった後藤さんは、自信にあふれ輝いて見えました。その真つすくな言葉に私も胸が熱くなるのを感じました。この気持ちを紙面で伝え、紙面を見た別の誰かの心を動かせたらと思います。私の仕事は新聞製作のシステム面から記者をサポートする技術職です。人から人へ感動を円滑に真つすく伝えられるよう、記者を陰から支えることが私の目標です。

「消防士になって大変なことはありますか」

「大変な仕事ですが、息抜きに何をしていますか」

「これから目標は」

「終わりに」

「心に残る現場は」

「終わりに」